

鯧漁場建築～旧留萌佐賀家漁場～

北海道・留萌市



佐賀家漁場は、江戸時代の弘化元年(1844年)に佐賀家八代平之丞が留萌で初めて礼受到ニシン漁場を開き、それ以来昭和32年まで、113年間ニシン漁を営んできた漁場である。佐賀家は最盛期には、12ヶ統のニシン建網を経営していたが、この場所は、元場^{もとば}と称され、佐賀家の留萌における根拠地として代々受け継がれてきた場所となっている。

現存の建物は江戸時代末から明治初頭にかけての建造と考えられる母屋(番屋)ほか、製品保管倉(トタ倉)、船倉、網倉、船着場などが残されている。

国指定重要有形民俗文化財(平成7年)・・・ニシン漁撈具一式(3,475点)

国指定史跡(平成9年)

北海道遺産登録(平成13年)(整備中のため通常は非公開)

TOPICS

- ・呑瀧祭り 8月上旬開催
- ・特産品：かずのこ、身欠きニシン、たらこ等

お問い合わせ先

留萌市海のふるさと館

TEL / 0164-43-6677

【交通】

車 / JR留萌駅から15分

